特別シンポジウム：
国際エネルギー機関（International Energy Agency（IEA））でのキャリア形成について

― Dr. Laszlo Varro（ラズロ・バロー）国際エネルギー機関チーフエコノミスト ―

国際エネルギー機関（IEA）は，第一次石油危機後の1974年，キッシンジャー米国務長官（当時）の提唱を受け，OECD内の機関として発足しました。現在の加盟国は29か国，事務局所在地はパリです。

IEAのトップであるビロル事務局長は度々訪日され，2016年4月の訪日時には，官邸で行われた国際金融分析会合において，安倍総理に対し，エネルギー情勢につき説明を行いました。また，2016年5月に我が国が主催した北九州G7エネルギー大臣会合にも出席するなど，エネルギー分野におけるその活動は国際的に高い評価を得ています。

今回，バロー・IEAチーフエコノミストの訪日の機会を捉え，自分の技術や知識を活かして国際機関で働きたい，という大学院生，研究者，教員の方々向けにIEAの業務内容やIEAにおけるキャリア形成に理解を深めていただく特別シンポジウムを企画しました。ぜひご参加ください。

ラズロ・バロー氏／プロフィール

2011年からIEAにて，ガス・石炭・電力課長として，電力・ガスの市場や供給の安全性，LNG市場，各国の電力・ガス市場改革やインフラ政策などの分析に携わる。2016年から新設された経済投資室のヘッドとして，現IEA事務局長ビロル氏の後任のチーフ・エコノミストに就任した。バロー氏は，ハンガリー出身で，ケンブリッジ大学，ブダペストコルヴィヌス大学にて修士号を取得。IEA以前は，ハンガリー国立銀行，石油企業MOLなどにて要職を務めた。

■**日時**　2017年7月13日（木）　17:00～17:55

■**会場**　東京工業大学　EE1棟　イノベーションホール

（10番の建物：　http://www.titech.ac.jp/maps/ookayama/midorigaoka.html）

〒152-8550　東京都目黒区大岡山2-12-1

■**主催：東京工業大学・エネルギーコース　共催：環境エネルギー協創教育院**

■**対象：**エネルギー・気候変動問題に関心のある大学院生，研究者，教員等（定員80名）

■**プログラム**（使用言語：英語）

16:45（予定）	受付開始
17:00～17:10	開会挨拶 － **東工大**　（調整中） **外務省・経済安全保障課長　高橋　美佐子**
17:10～17:30	IEAでのキャリア形成について **ラズロ・バロー国際エネルギー機関（IEA）チーフエコノミスト**
17:30～17:50	質疑応答
17:50～17:55	閉会挨拶 － **東工大**　（調整中）

■**参加費**　無料

■**参加申込**

氏名・所属（大学名含む）・連絡先（Eメールアドレス）をご記入の上，外務省・経済安全保障課（e-mail: economic-security-division@mofa.go.jp）宛にメールでお申し込みください。　申込期限（仮）：7月7日（金）

※先着順とし，定員に達し次第締め切らせていただきます。

■**お問合せ先**

外務省・経済安全保障課　伊藤，井上　　e-mail: economic-security-division@mofa.go.jp

＜個人情報の取り扱いについて＞

- 登録された個人情報は，本イベントの参加登録・管理以外の目的で利用することはございません。また，本イベント終了後，適切に破棄いたします。
- 広報上の目的で，本イベント参加者の写真又は動画を撮影し利用する可能性がありますので，予めご了承ください。

東京工業大学
エネルギーコース